平成31年4月7日執行

北海道議会議員選挙選挙公報（旭川市選挙区）

北海道選挙管理委員会

日本共産党公認 真下紀子（ましたのりこ）

命を守ることを政治信条にみなさんの声を道議会に届けて4期16年。これからも安心して命をつなぎ、平和に住み続けられる北海道をめざし、みなさんと力合わせて全力で奮闘いたします。

STOP! 消費税10% 原発 9条改憲 カジノ

安倍政治にサヨナラ

全力疾走！道民とともに 安心して暮らせる北海道を

真下紀子はめざします

★安全・安心の北海道を
道民の足　地方路線存続を
カジノにNo！食と自然で観光振興を
泊原発は廃炉、自然再生エネ促進
ムダを見直し、災害対策型公共事業に
粘り強い道理ある領土返還交渉を

★いのちとくらしを守ります
給付型奨学金制度の創設
子どもの医療費軽減
子どもの国保料均等割はゼロに
国保料・介護保険料の引き下げ
中小企業・農林漁業の担い手支援強化
憲法守って自衛隊員を戦地に送らない！

多くの論戦・提案で実現

質問回数4期連続トップin旭川

☆遠隔地の妊産婦の宿泊費・交通費助成創設
☆特急列車に車いすスペース設置
☆入学準備金・クラブ活動費など就学援助の対象を拡大
☆開発道路・大規模林道見直し実現
☆胆振東部地震被災者冷蔵庫・洗濯機・TVに助成

議会改革すすめます

政務活動費はネット公開へ
海外視察廃止を
議員報酬はまず2割カットを
議会庁舎は全面禁煙に

市民と野党の共闘で道政チェンジ！

プロフィール
- 1956年　十勝管内豊頃町生
- 帯広三条高校・北大看学卒業
- 旭川医大病院、豊岡小児クリニック、のびろ保育園で看護師
- 道議会議員4期
- 趣味　読書・ホットヨガ
- 特技　早わざ料理

HP　真下紀子　検索
FB　ブログ笑顔ときどきウルトラマン

公明党 公認 寺島のぶひさ（てらしま）

新・戦力！

選ばれる道北・旭川を目指します!!

寺島のぶひさ

●寺島のぶひさプロフィール
- ●昭和40年 旭川市生まれ
- ●昭和52年 大町小学校卒
- ●昭和55年 北星中学校卒
- ●昭和58年 旭川西高校卒
- ●昭和62年 創価大学卒
- ●昭和62年 東栄(株)入社
- ●平成20年 東栄保険サービス(株)代表
- ●平成22年 フィール旭川立ちあげ成功
- ●平成26年 一〇八抹茶茶廊オープン
- ●宅地建物取引士

フェイスブック QRコード

1 経済に活力を！

●本社機能を有する企業をはじめ、雇用拡大につながる企業・工場等の誘致を推進。

●観光インフラ（外国語表記や除雪等）やWi-Fi環境などの充実で魅力あるマチづくり。

2 少子高齢化に即応したまちづくり

●地元企業への就職増加を図るため学生、保護者、教員への情報提供、インターンシップの充実。

●定年退職後も生きがいを持ち無理なく就労できる制度を設けるなど、安心なまちへ。

3 防災・減災対策を強化・旭川を防災拠点に

●災害に強いマチづくり　電力供給システムの構築、再生可能エネルギーの導入推進。

●首都圏・他都市が災害にあった際、業務継続のためのデータ保管、バックアップ施設を旭川に誘致し、「日本の防災センター」としての役割を担っていく。

●除雪体制のさらなる充実で「冬でも安心」の旭川・道北へ。

ホームページ http://www.komei.or.jp/km/terashima-nobuhisa-hokkaido/

寺島のぶひさ 検索

自民党公認 東くによし（あづま）

●道産食材輸出額を1500億円にします。（現在639億円）
●自動運転車試験場は旭川市に誘致します。
●旭川空港を新千歳空港の代替空港にします。
●地域の大切な交通体系を守ってまいります。

郷土を護る ～国土強靭化・防災減災、エネルギー・防衛～
郷土を活かす ～地域づくり・交通・人材育成・中小企業～
郷土を拓く ～新産業・海外交流・観光～
郷土を担う ～子育て・教育～
郷土を磨く ～旭川市のために～
郷土を守る ～医療・福祉～
郷土を耕す ～農林水産業～

今、北海道に必要なのは単なるスローガンでも評論でもなく法をつくり、目に見える形に、そして幸せ感と未来への希望が持てる、そんな責任のある政治を

東国幹は目指します。

東くによし 北海道議会議員 4期16年の実績
- ○H29年議員会長としてJR問題の特別委員会を新設する
- ○林業大学校の旭川市への誘致に成功
- ○子供たちの未来へ健康のための0820推進条例を制定する
- ○道立高等養護学校の旭川への誘致実現
- ○道属特・東神楽線（上川十勝道路）の事業認可を決める
- ○北海道発注の建設事業の落札率を90%以上とする
- ○国の幡子法廃止に伴い、北海道独自の新しい条例を今月(3月)に制定
- ○平成27年度北海道議会議員選挙にむけて定数是議会収長として定数削減を断行
- ○末広から近文地区ワッペリ川の過去最大の整備事業を実現
- ○北海道障がい者条例を制定する

無所属 安住たかのぶ（あずみ）

As you, As me.
（あなたらしく　わたしらしく）
～変わらない思い～

政治家の使命とは、未来に向かい決断を下し、責任を負うこと。
次の、そのまた次の世代へと引き継ぐ未来のために…

若者と希望を取り戻す！

安住の処方せん

「全国的な人材獲得競争」の下「若者を留め、呼び込む！」

◇所得水準アップにつながる経済基盤の強化
先ずは旭川で、**札幌市民の平均所得水準を超える**稼ぎの実現を目指すと同時に、「そこまで挑戦させてくれるなら働きたい、住んでみたい」と、**若者の心に火を点ける！**

◇持続的な成長をもたらす教育の質的転換
東京？海外？旭川で！国際化、AI社会到来をモノともしない、**最先端のリカレント教育**（広義の生涯学習）を推進し、**創造力・課題解決力向上**に向けた学びの質的転換を加速する！

◇グローバル化から地域を守る「経済の緑化」
今や環境は、経済成長の制約要因ではなく、**環境との調和こそが成長の源泉。**輸入燃料への依存度低下は、**地域に人と資金を呼び戻す、**グローバル化の防波堤！

安住の問題意識

「若者の流出」が続く先に待つ3つの「現実的危機」

◇消費が減り、経済規模がより縮小
雇用の場が益々減少、給与等の低下も進む

◇不足する労働力の、さらなる減少
介護などの担い手も減り、老々介護に拍車

◇社会資本の過剰化、老朽化が加速
残っている方々に、負担と不便がしわ寄せ

目の前の、一つ一つの課題と真摯に向き合うと同時に、このような、構造的かつ本質的で、
より困難な課題にこそ、力を尽くす！

安住たかのぶ 略歴
旭川生まれ、旭川育ち、49歳
1970（昭和45）年4月1日生まれ
新町小、神居中、旭川東高、慶應大法科卒、
北大公共政策大学院修士修了
新日鐵本社、日本経済研究センター派遣、
新日鐵八幡製鐵所、平成10年帰郷
同11年～旭川市議3期、同27年～道議1期
「為せば成る　為さねば成らぬ何事も
成らぬは人の為さぬなりけり」
http://www.az3.net/

※この選挙公報は、候補者から提出のあった掲載文を原文のまま印刷したものです。

平成31年4月7日執行

北海道議会議員選挙選挙公報（旭川市選挙区）

北海道選挙管理委員会

松本将門（まさかど）

立憲民主党 公認

国民民主党北海道総支部連合会
社会民主党北海道連合
推薦

プロフィール

1969年（昭和44年）7月29日生まれ（49歳）
1988年（昭和63年）北海道北広島高等学校卒業後、北海道職員として旭川土木現業所（現在の旭川建設管理部）に入職し、以来建設行政に30年間従事する。
道民目線の開かれた道政実現をめざし、2018年3月に北海道庁を退職。
額に汗して働く労働者の立場で、連合上川地域協議会会長代行と兼ねて立憲民主党北海道6区総支部（旭川ブロック）副代表の任務に就き、地域活動を展開する

家　族：妻、息子二人（長男は独立）
趣　味：野球観戦と旅行・食べ歩き
好きな言葉：常に準備せよ

松本将門の4つの柱

経済・雇用

・若者が旭川に定着できる産業を育成し、雇用の確立・創出をめざします。
・働く者の賃金引上げ等、処遇改善に取り組み、消費拡大からの景気回復をめざします。
・地場産業の育成、農業をはじめとした第1次産業の活性化に取り組み、郷土旭川の発展に全力を尽くします。

子育て・教育

・子どもを虐待や犯罪から守り、親子が安心して暮らせる旭川、北海道をつくります。
・社会全体で子育てのしやすい環境整備を進めていきます。
・子どもたちの可能性を広げられる教育環境の実現に取り組みます。

街づくり

・高齢化社会を見据え、誰もが安心して暮らせる住みやすい街づくりをめざします。
・道民の生命と暮らしを守るため、災害に負けないインフラ整備を進めていきます。
・市民の様々なニーズを生かした街づくりを進めていきます。

福祉・医療

・道民が安心して暮らせる介護や医療のネットワークづくりをめざします。
・どこでも安心して医療サービスが受けられるよう、医師をはじめとした医療従事者の確保及び旭川における人材育成に努めてまいります。
・高齢化社会に適応できる環境整備及び北海道障がい者条例の着実な推進に取り組みます。

旭川と共に歩む道。

私の決意

私は30年間、北海道職員として勤めて参りました。
私が採用されて数年後景気は傾きはじめ、北海道は、地域経済を支えようと公共事業を拡大させておりました。
1997年頃れた北海道拓殖銀行が破綻して以降、北海道の景気は大きく後退しました。道庁の財政も縮小され、地域を発展させていくことが難しくなり、維持し守っていくことで精一杯になりました。
私がたずさわってきた道路や河川の管理業務は、市民の暮らしや都市の機能を支える「地道な行政分野」ですが、近年は豪雨災害や雪害が多発してきており、よりしっかりした体制づくりが必要になっています。
医療や福祉、子育てや介護とともに、人口減少や公共交通の問題など、旭川市に投げかけられている課題は多く、「待ったなし」と言っても過言ではありません。
私は、30年の行政経験を活かし、「いま何が求められているのか」を道民目線で考え、北海道議会で汗をかいていくことを決意申し上げます。

あなだ 貴洋（たかひろ）

自民党公認

徹底して行政・政治のムダを斬り、北海道と旭川を再生します！

北海道強靭化・防災

社会資本の老朽化に対応し、災害に強い公共インフラの戦略的な維持管理・更新を推進するとともに、「防災・減災・知災・備災」の能力を高めるため、地域・学校等における防災教育や訓練の充実強化を図ります。

人口減少・外国人政策

安易な外国人の受入れは、なし崩し的な「定住」や「生活保護費の増加」も危惧されることから、生産性向上や国内人材確保のための取組強化に加え、人手不足の根本要因たる"少子化対策"を重点的に推進します。

健康寿命の延伸

リハビリテーション専門職等を活用し、要支援・要介護状態となる前から「介護予防」の取組を推進するとともに、地域包括ケアシステムの構築や、医療・介護連携の強化により、高齢者の健康寿命の延伸を図ります。

家族・子育て

育児の社会化に偏らず、親の長時間労働の是正にも取り組むとともに、子供が幼いうちは育児に専念したいと考える女性への政策的配慮など、「親子の絆」の再生・強化の視点から、家族・子育て支援を推進します。

いじめ根絶・道徳教育

第一に守るべきは、いじめの被害者。いじめを繰り返す児童生徒への「出席停止処分」や、行為が"犯罪"に該当する場合は警察に通報する、道徳・家庭教育の徹底など、今すぐできる対策を断行します。

政治・行政改革

「正直者が馬鹿を見ない社会」「頑張る人が報われる社会」とするため、徹底して政治・行政に蔓延るムダを斬り、行政機能や政策効果を最大限向上させるとともに、「やる気のある志の高い道庁組織」を目指します。

プロフィール

○昭和51年3月18日	旭川市生まれ
○昭和63年	旭川市立陵雲小学校 卒業
○平成 3年	旭川市立広陵中学校 卒業
○平成 6年	旭川実業高等学校 卒業
○平成11年	日本大学工学部土木工学科 卒業
○平成11年～20年	建設会社にて調査・計画、設計、積算を経験
○平成20年～21年	典膳医師長・いぶき呼吸器所にて選挙を経験
○平成23年	旭川市議会議員選挙に初当選 （建設公営企業常任委員会副委員長／総務常任委員会委員）
○平成27年	旭川市議会議員に2期目当選 （民生常任委員会委員長／経済文教常任委員会委員）

笠木かおる

立憲民主党公認
国民民主党推薦

❶札幌一極集中の流れを食い止め、北海道と連携して新たな投資を呼び込みます。
❷特区構想を視野に、郷土愛に満ちた北の経済都市・旭川をつくります。
❸34万旭川市民の幸福感が高まるように、きめ細かな住民福祉を追求します。
❹振興局の権限を高め、基礎自治体に対する北海道の支援を強めます。
❺第4期西川市政の公約実現を応援する北海道をつくります。
❻「日本一マナーの良い街、旭川」を市民とともにめざします。

前・旭川市議会議長

笠木かおる（かさぎ）

笠木かおる プロフィール

●昭和32年 東旭川で水田農家の次男として生まれる。
●昭和50年 道立旭川農業高等学校卒業。
（サッカー部では主将も経験）
●平成11年 「約束をしっかり守ることと、そのできなことに対しても一生懸命に努力すること」を公約に旭川市議会議員に初当選。（3114票/30位当選）
●平成15年 旭川市議会議員再選。（5169票/2位当選）
建設公営企業常任委員長。
●平成19年 旭川市議会議員再選。（5433票/2位当選）
議会運営委員長、観光常任委員長。
●平成23年 旭川市議会議員再選。（5902票/トップ当選）
民主市民連合会長。
●平成27年 旭川市議会議員再選。（7161票/トップ当選）
第35代旭川市議会議長。

選挙に行こう！ そだねー！

4.7 投票日

投票時間 午前7時～午後8時
※一部の投票所で投票時間が異なる場合があります。

18歳以上の方が投票できます。

北海道知事選挙 北海道議会議員選挙

18歳からGO!

投票日に予定がある方は
期日前投票
土・日も投票できる

北海道知事選挙　3.22(金)▶4.6(土)
北海道議会議員選挙　3.30(土)▶4.6(土)
午前8時30分～午後8時

お仕事、冠婚葬祭、旅行やレジャーなどのご予定があり、投票日に投票できない方は、期日前投票をしましょう。
期間中、毎日受け付けしています。※一部の投票所で投票時間が異なる場合があります。※詳しくは市区町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

北海道選挙管理委員会　http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hs/　道選管　検索